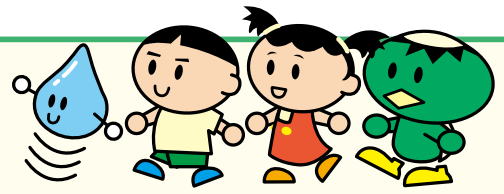
県営水道の平成24年度の主な取組



平成24年度予算から、県営水道の主な取組を紹介します

❶ 災害や事故に強い水道づくり

- 大規模地震の発生に備えて、耐震継手管による配水管の改良を進めるなど水道施設の耐震化を促進し、水道施設の基幹施設を対象に想定される最大規模の地震に対する耐震診断を引き続き実施します。また、耐震診断結果に基づき、施設の耐震補強を計画的に実施します。
- 災害に強い水道づくりをめざして、浄水場系統間及び隣接する他の水道事業者間の相互融通化とバックアップ体制を強化します。

❷ 安全でおいしい水づくり

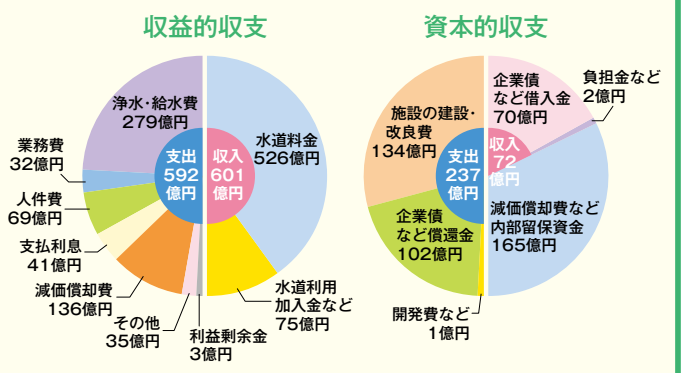
- 浄水場から送り出す塩素濃度を低減し、かつ、浄水場から離れた末端給水栓でも水質基準を満たすよう、自動水質測定装置のデータを基に、途中の配水池等で塩素を追加できる設備を計画的に設置します。
- 鉛を使用している給水管の解消を図るため計画的に取替工事を実施します。

❸ 安定した水の供給

- 11水道営業所・2浄水場において、配水池やポンプ所等の施設の整備・更新、水道管の漏水修理をすることにより、安定給水を確保します。
- 老朽化している水道管を耐震性の高い鋳鉄管等に取り替え、安定給水を確保します。

水道事業会計当初予算

- ●収益的収支…水をきれいにしてお届けすることにより料金をいただくという県営水道の営業活動に係る予算です。
- ●資本的収支…水道施設の建設や改良工事に係る予算です。



❹ 環境に配慮した事業の推進

- 再生可能エネルギーの導入促進のため、厚木総合ポンプ所跡地に太陽光発電設備(最大出力43kW)を設置します。
- 二酸化炭素排出量の削減を図るため、11水道営業所及び寒川浄水場にリースにより導入した電気自動車(EV)を業務に活用します。

❺ お客さまニーズへの対応

- お客さまからの電話受付業務等を行う、お客さまコールセンターを運営します。

学校直結直圧式給水方式の検証事業の取組

学校の給水方式は、災害や事故等でも断水を回避できるよう受水槽に一度貯めてから給水していますが、夏季等は水温が上昇し、味を損ねることがあります。

そこで、県営水道では、次の世代を担う子どもたちに水道水のおいしさを実感してもらうため、校舎内や校庭にある水飲み場の配管を、受水槽を経由しない直結直圧式に切り替える事業を行っています。

検証事業を実施した小学校(6校)のアンケート結果

対象者：4年生から6年生の児童

Q 学校でいつも何から水を飲んでいますか？

A 学校のじゃ口(校内・校庭の水飲み場)
工事前 29.4% → 工事後 47.9%

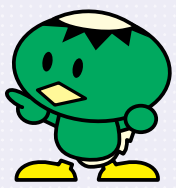
A 家から持ってきた水筒・ペットボトル
工事前 32.4% → 工事後 18.9%

検証事業を実施した学校の紹介

平塚市立八幡小学校
藤沢市立大越小学校
鎌倉市立大船小学校
茅ヶ崎市立円蔵小学校　など

水道水の放射能濃度検査体制を強化

平成24年4月1日から、水道水の放射能濃度に関する基準が厳しくなったと聞いたけど、どのように厳しくなったの？



平成24年4月1日から、飲料水を含む食品中の放射性物質について、食品衛生法上の新たな基準が施行されたことを受け、水道水についても、これまでの指標値を見直して新たな目標値が設定されました。

◎水道水中の新たな目標値
放射性セシウム　10Bq（ベクレル）/kg

平成24年3月までは、東日本大震災に伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に関連した水道水中の放射性物質への対応として、緊急時における指標値(放射性セシウムについては、200Bq/kg)が定められていました。

県営水道の対応

県営水道では、新たな目標値に対応するため、ゲルマニウム半導体検出器を購入し、水道水1キログラムに含まれる放射性セシウムを1ベクレル以下まで検査できる体制を整えることにしました。

なお、ゲルマニウム半導体検出器が配備されるのは、今年の7月となりますので、それまでの間は検査を委託して対応しています。

これまでの検査結果では、どの浄水場の水道水からも放射性セシウムは検出されていません。

※詳しい検査結果については、次のアドレスをご参照ください。
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300707/

放射性セシウムを1Bq/kg以下まで検査しても、水道水からは検出されていないんだね。十分安心して飲めるね。

問い合わせ先　県企業庁浄水課☎045-210-7282

水のある風景写真コンテスト 作品募集

人と水とのふれあい、水が写った美しい景色など、私たちの身近でも素晴らしい風景があります。そんな風景を写真にしてご応募ください。

※ 撮影対象地域は、県営水道の給水区域内と県内の水源地域(海を除く。)です。

●応募条件
- ●神奈川県営水道給水区域内で撮影したもので水が写っているもの、または県内の水源である河川やダム・湖（相模川・酒匂川及びその支流、相模湖、丹沢湖、宮ヶ瀬ダム等）が写っているもの。
- ●平成23年7月1日以降に応募者本人が撮影した未発表の写真。他のコンテスト等に応募されたものは不可。
- ●フィルム、デジタルの両方可。写真は２Ｌサイズ（127mm×178mm程度）、カラープリント、単写真（１枚でテーマが完結する写真）。意図的な合成や削除したものは不可。(暗室作業での合成や特殊効果も不可。)トリミング、コントラスト、カラーバランス等の画像調整は可。

●応募先・問い合わせ先
〒231-8588　県企業庁経営課管理広報グループ「水のある風景写真コンテスト」係
☎045-210-7215

●応募にあたっての注意事項
1人何点でも応募可／応募作品の使用権は主催者に帰属します。／被写体に人物が含まれる場合、主催者は肖像権の侵害等の責任は負いません。／応募作品の返却不可／応募作品は、企業庁の広報用として利用することがあります。また、その際、作品の原版(ネガ、ポジフィルム、データ)を提出していただくことがあります。／応募の条件に違反した場合は、入賞を取り消すことがあります。

●応募期間
平成24年6月1日(金)～8月31日(金)

●応募方法
下記応募票(コピーして使ってください。同内容なら自作可。）に記入の上、応募作品1枚ごとに裏面に貼りつけ、送付してください。

●表彰等
最優秀賞1点、優秀賞1点、優良賞5点、佳作5点を選出し、入賞者に賞状及び副賞を贈呈します。
入賞者へは直接通知するほか、企業庁のホームページで発表します。

平成24年度「水のある風景」写真コンテスト応募票

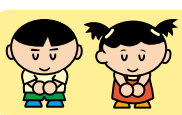
撮影データ	題名	
	撮影年月日	平成　　年　　月　　日
	撮影場所	(市町村名　　)
	作品コメント	
(フリガナ) 氏　名		
住　所		〒
電話番号		
※受付番号 (主催者記入欄)		

水のある風景写真コンテスト 写真集

好評販売中です！

神奈川県企業庁で平成15年度から実施している「水のある風景」写真コンテストの入賞作品97点を詰め込んだ写真集を販売しています。水が写った美しい風景や人と水のふれあいなど、季節ごとの魅力的な写真がいっぱいです。ご興味のある方は、ぜひご購入ください。

- ● 内容　装丁　フルカラー、200mm×220mm、112頁
- ● 販売価格　1,890円(税込み)
- ● 販売箇所　企業庁経営課、県庁新庁舎地下タミヤ書店、有隣堂各店舗



お客さまの水道使用量の情報を活用させていただくことについてのお願い

県営水道では、お客さまの水道使用量に関するデータを地域ごとに集計させていただき、将来の水道施設の更新や技術的検証をする際に活用させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

なお、データを活用することにより、個人のデータが特定されることはありません。